

馬淵川水系河川整備計画の策定について (青森県管理区間)

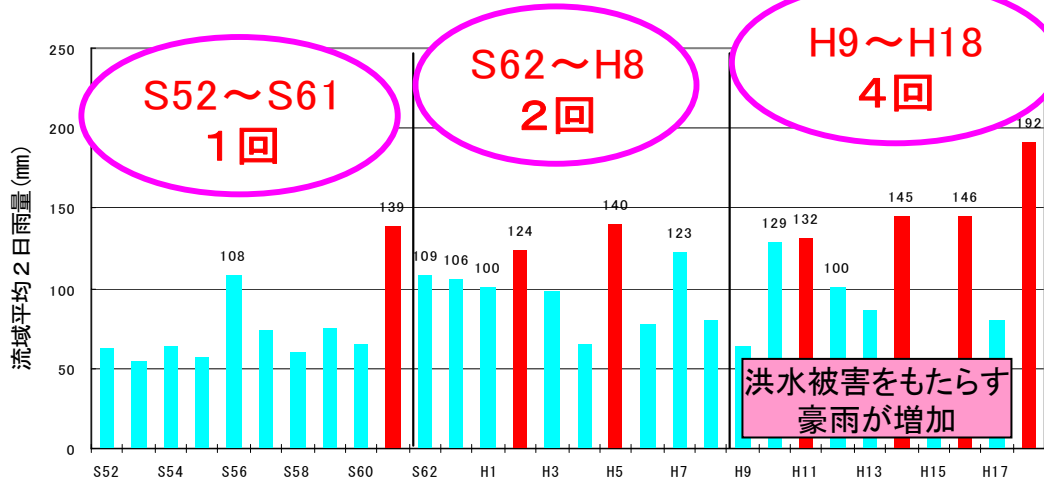
- I. 馬淵川中流部の治水の現状と課題
- II. 河川整備計画における馬淵川中流部の治水の目標
- III. 治水対策の具体的内容
 - ・馬淵川中流部
 - ・浅水川

平成20年5月14日

青 森 県

I. 馬淵川中流部の治水の現状と課題【現状】

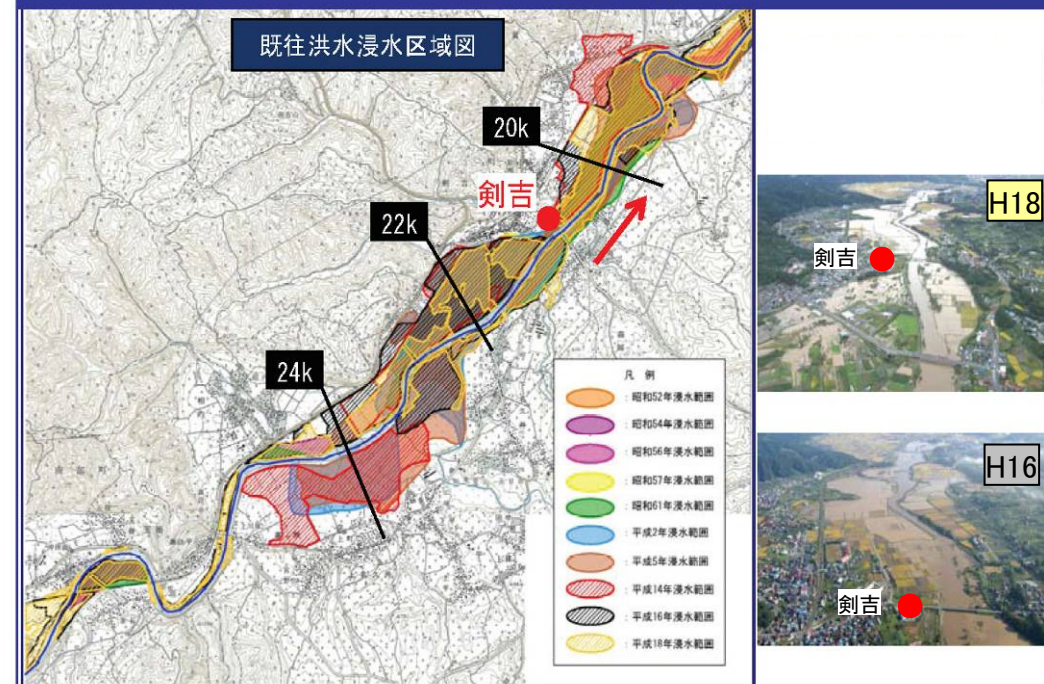
近年洪水被害をもたらした降雨



浸水想定区域図



◆中流部の氾濫状況



平成16・18洪水の避難勧告世帯数

発生年月	南部町	三戸町	合計
H16.9	323	39	362
H18.10	162	0 (自主避難16)	162

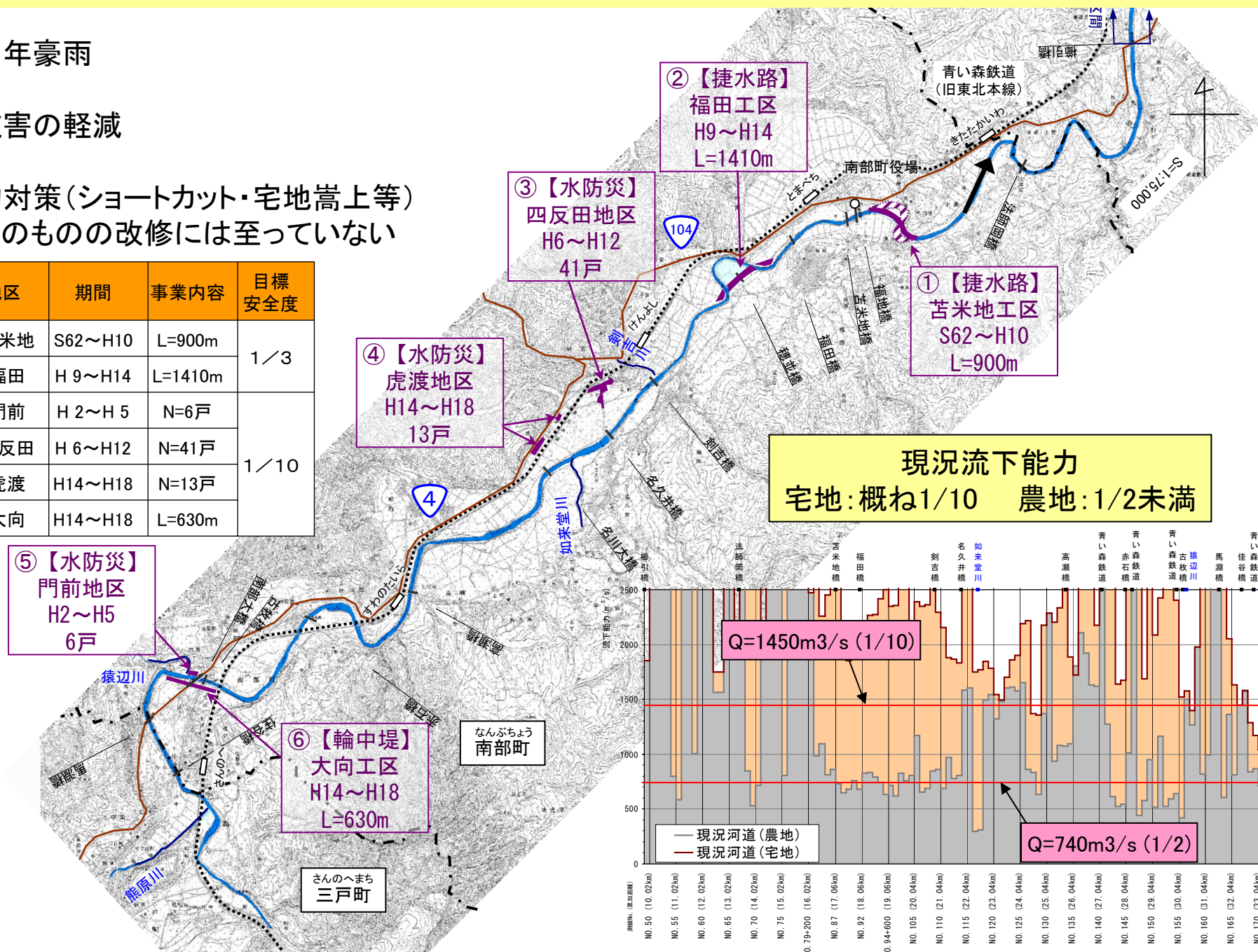
I. 馬淵川中流部の治水の現状と課題 【治水対策の沿革】

契機：昭和61年豪雨

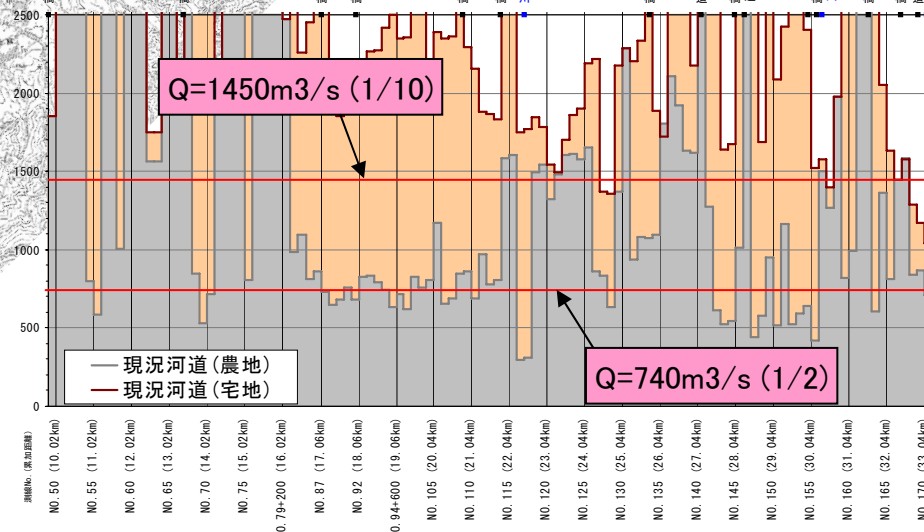
↓
目標：浸水被害の軽減

↓
手法：局所的対策(ショートカット・宅地嵩上等)
河道そのものの改修には至っていない

事業	工区・地区	期間	事業内容	目標安全度
捷水路 (ショートカット)	① 苦米地	S62~H10	L=900m	1/3
	② 福田	H9~H14	L=1410m	
水防災 (宅地嵩上)	⑤ 門前	H2~H5	N=6戸	1/10
	③ 四反田	H6~H12	N=41戸	
	④ 虎渡	H14~H18	N=13戸	
輪中堤	⑥ 大向	H14~H18	L=630m	



現況流下能力
宅地:概ね1/10 農地:1/2未満



⑤【水防災】
門前地区
H2~H5
6戸

⑥【輪中堤】
大向工区
H14~H18
L=630m

④【水防災】
虎渡地区
H14~H18
13戸

③【水防災】
四反田地区
H6~H12
41戸

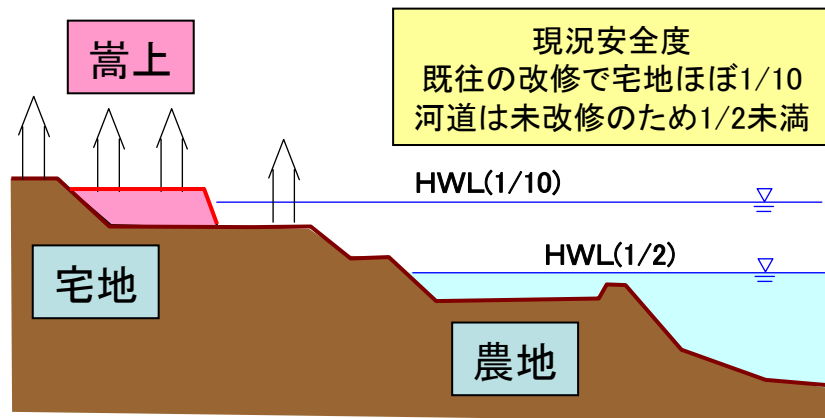
②【捷水路】
福田工区
H9~H14
L=1410m

①【捷水路】
苦米地工区
S62~H10
L=900m

さんのへまち
三戸町

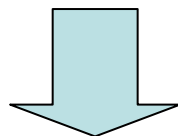
なんぶちよう
南部町

I. 馬淵川中流部の治水の現状と課題 【課題】



【現状】

- 頻発する豪雨と氾濫しやすい地形
- 局所的な対策のみのため、未対策地区では依然として宅地の浸水被害が発生
- 農地の安全度は著しく低い

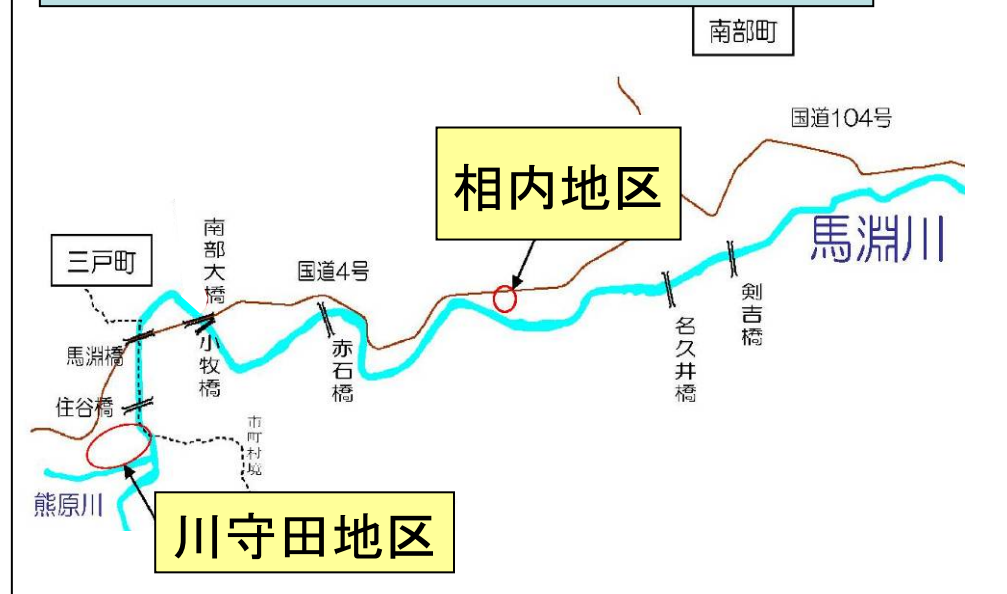


【課題】

- 宅地：未対策地区における早急な治水対策
- 農地：安全度向上

【馬淵川の総合的な治水対策(ハード対策)】

- ◎緊急対策(概ね5年)
 - ・相内地区、川守田地区
- ◎中長期対策(今後の課題)
 - ・農地浸水被害の軽減

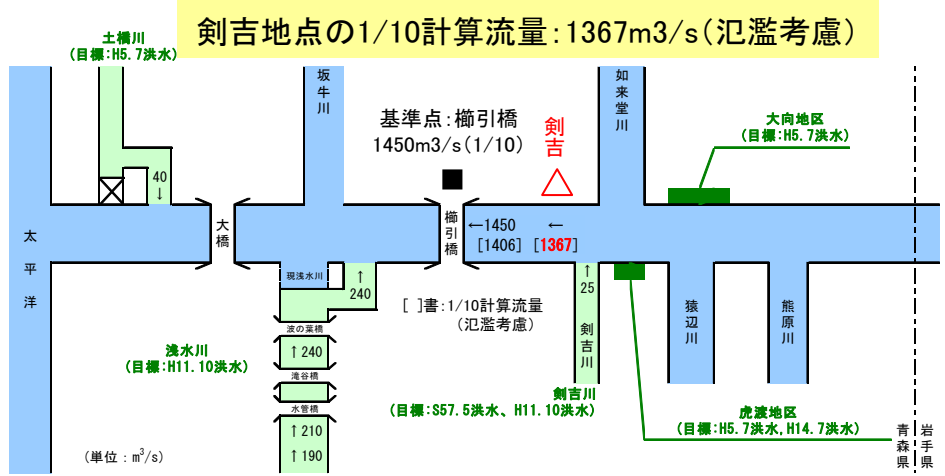


【整備基本方針 (H19.7)】

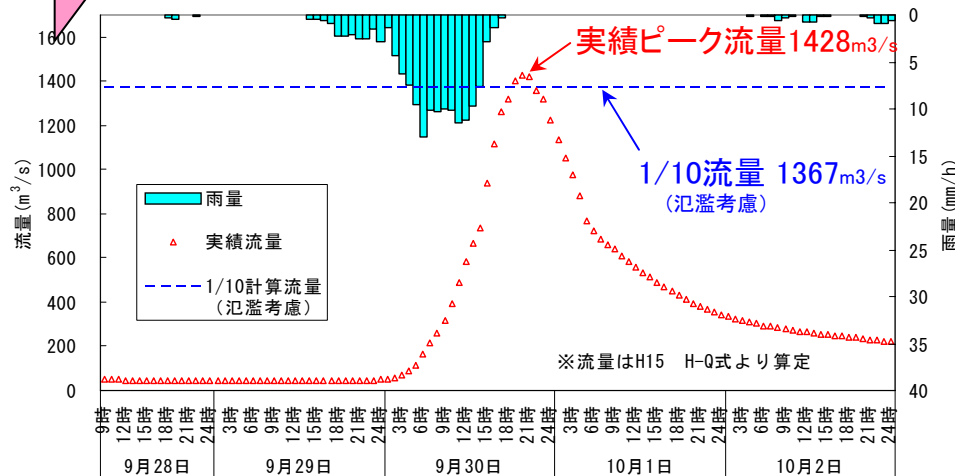
- 地域との合意形成を図りつつ、連続堤の整備だけでなく輪中堤等の対策を実施

II. 河川整備計画における馬淵川中流部の治水の目標

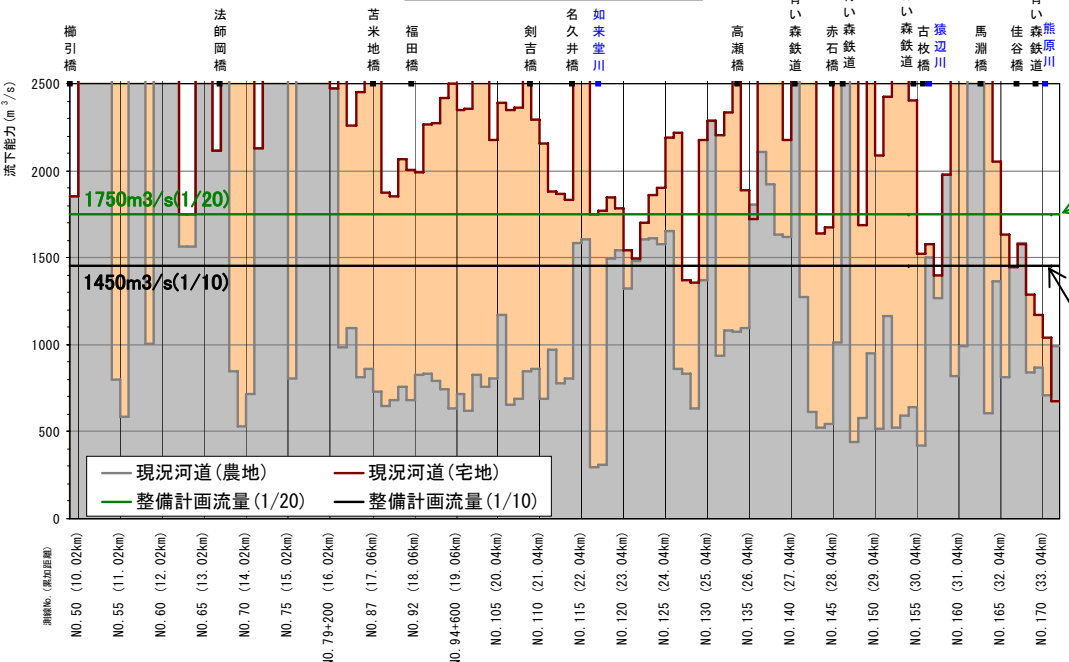
現行計画 流量配分図(H15年10月策定)



H16年9月洪水の検証: 剣吉地点



現況流下能力



H16洪水は現行計画(1/10流量)以上

宅地 1/20
Q=1,750m³/s

○浸水戸数301戸→0戸
○H16.9洪水・H18.10洪水を安全に流下

↑ 目標安全度の見直し

宅地 1/10
Q=1,450m³/s
(現行計画)

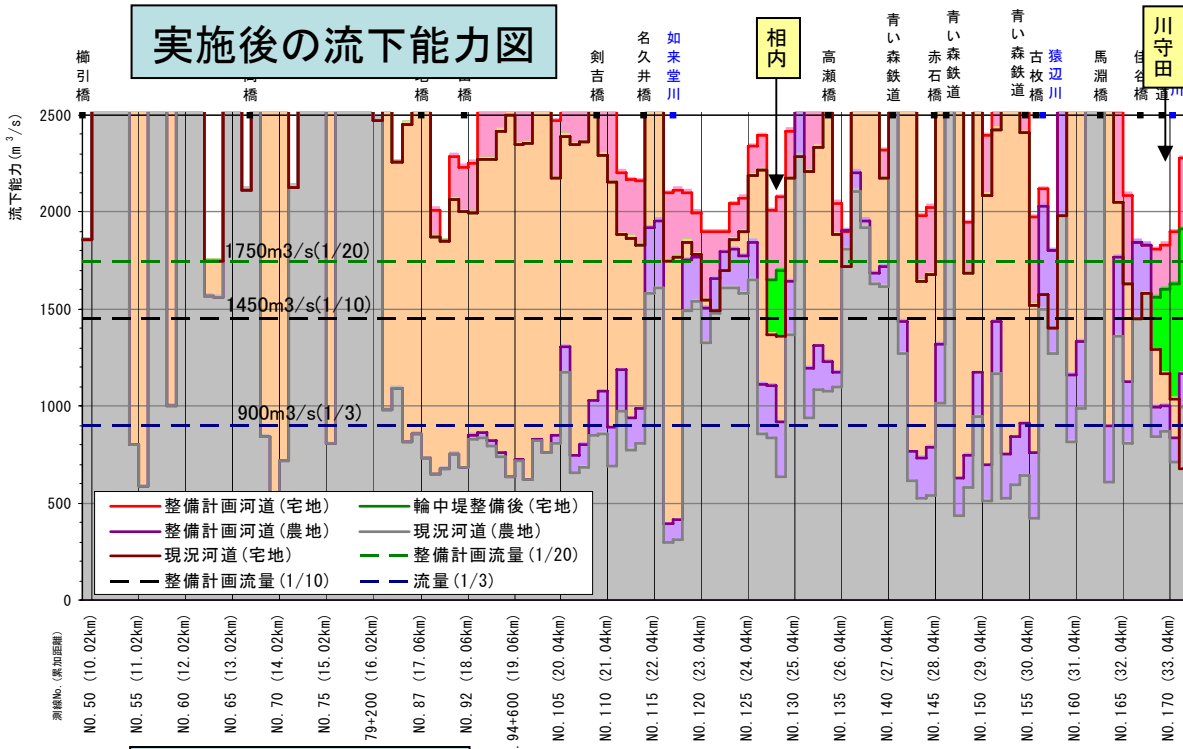
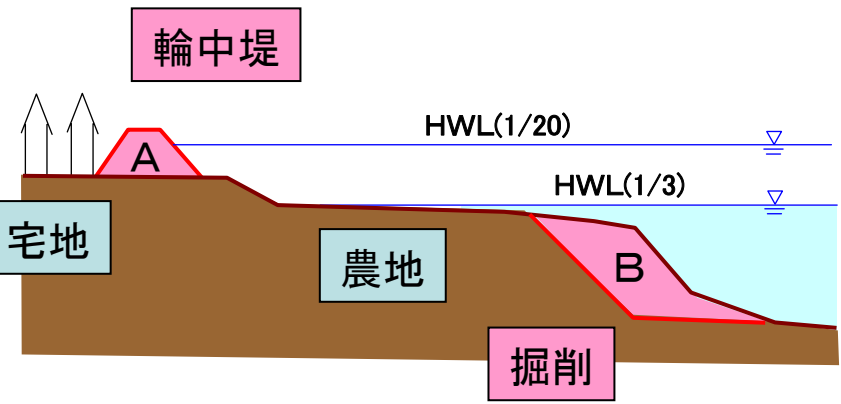
期間: 今後概ね10年間
区間: 青森県管理区間全体

Ⅲ. 治水対策の具体的内容【馬淵川中流部の整備方針】

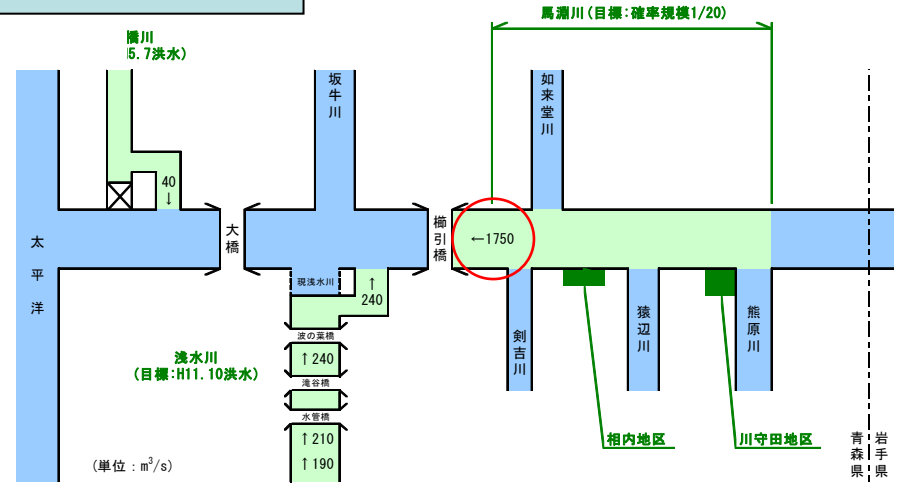
整備方針と整備イメージ

【宅地の治水対策】
 ○未対策地区（相内・川守田）
 A：輪中堤により早急に安全度を向上
 B：河道掘削により目標安全度を達成
 ○対策実施済地区
 B：河道掘削により目標安全度を達成

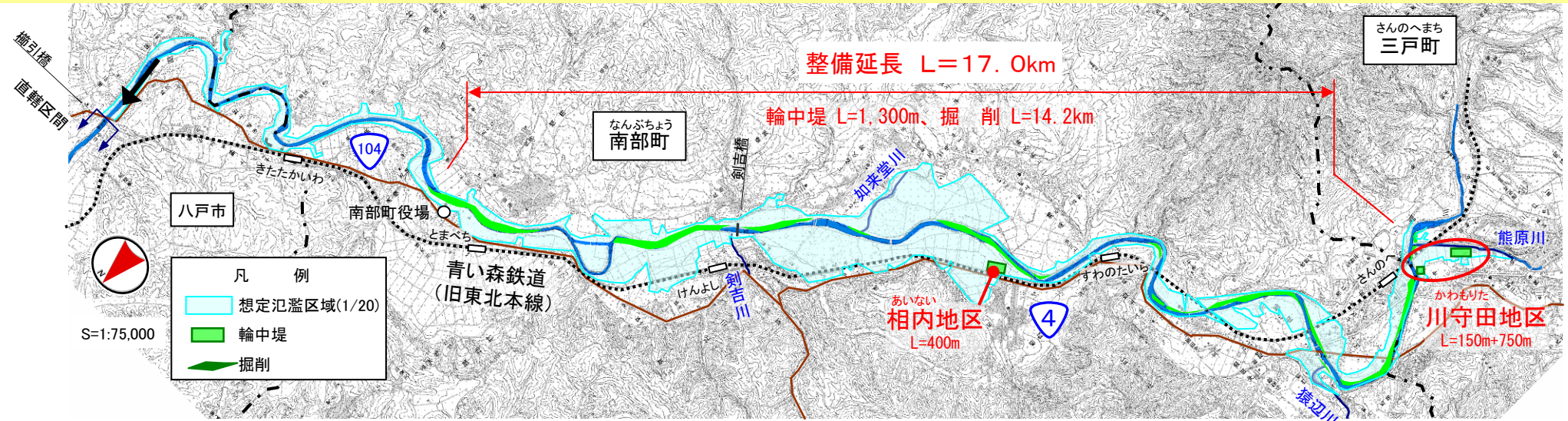
【農地の治水対策】
 B：河道掘削により浸水深を低減
 （安全度の向上）



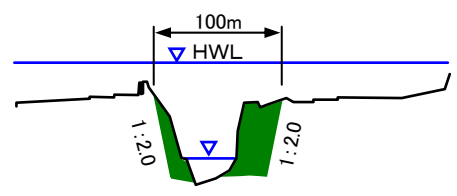
目標流量配分図



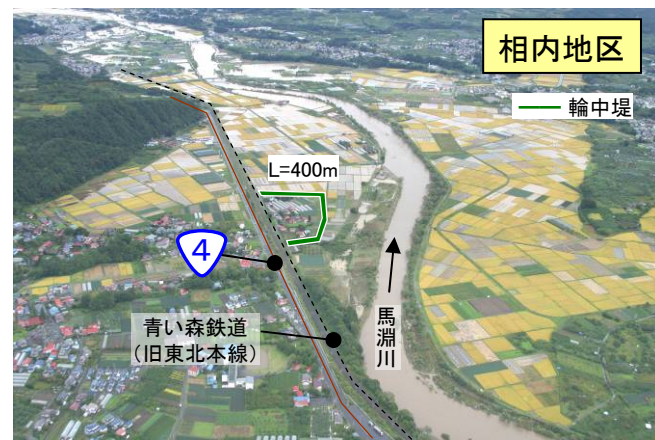
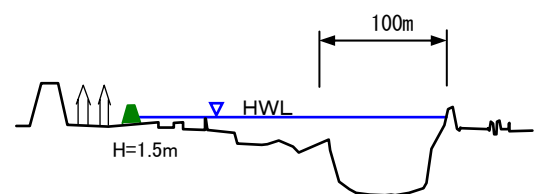
Ⅲ. 治水対策の具体的内容【馬淵川中流部】



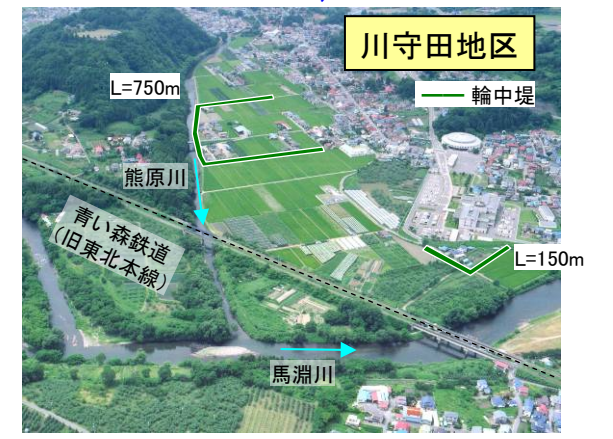
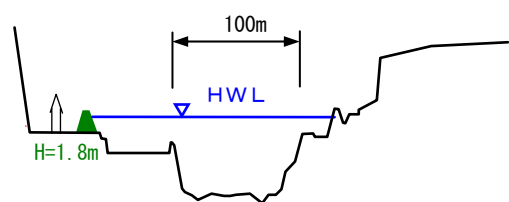
南部町苦米地～三戸町川守田地内
掘削 L=14.2km



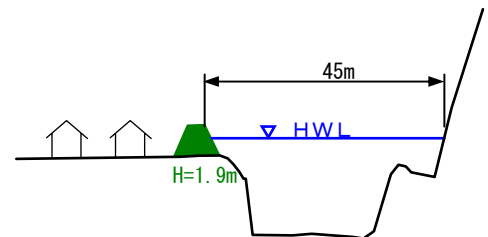
馬淵川 南部町相内地区
輪中堤 L=400m



馬淵川 三戸町川守田地区
輪中堤 L=150m



熊原川 三戸町川守田地区
輪中堤 L=750m

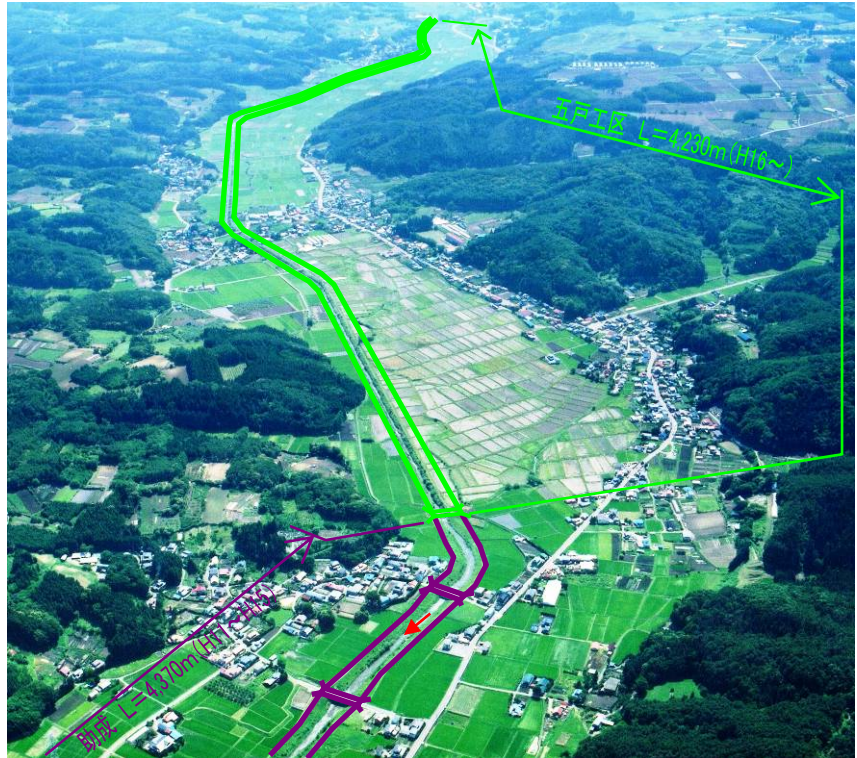
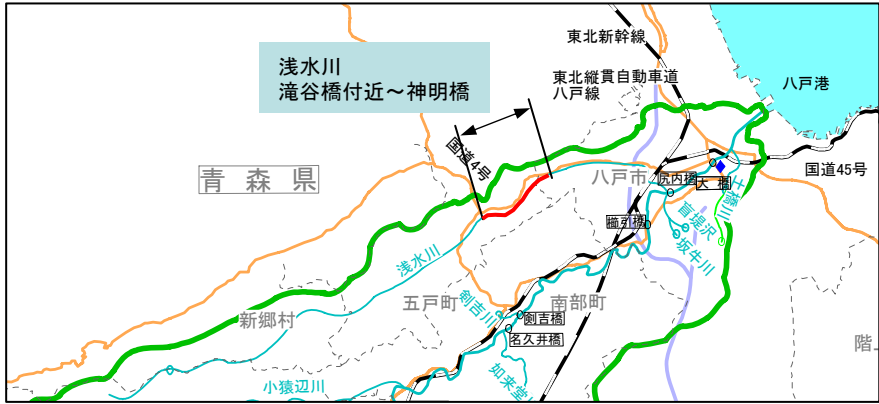
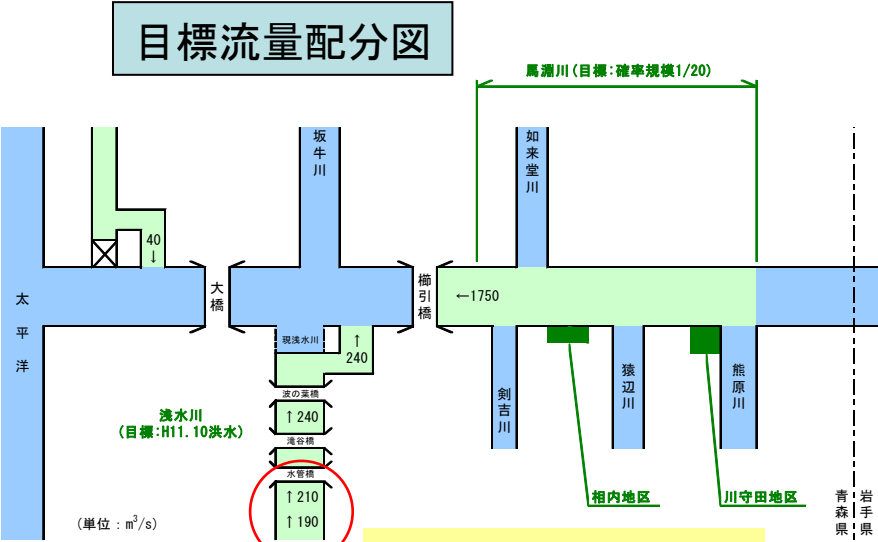


Ⅲ. 治水対策の具体的内容【浅水川】

H15.10整備計画を踏襲

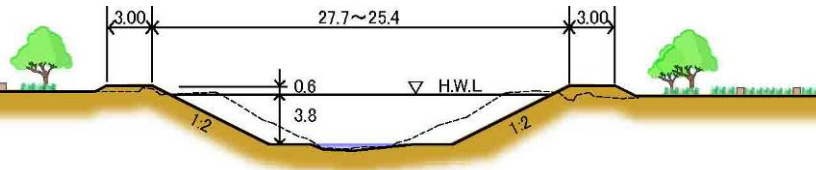


平成2年10月及び平成11年10月に発生した洪水と同規模の洪水を安全に流下させるため、河道拡幅と築堤を実施



滝谷橋付近～神明橋

現況河道の拡幅と築堤を実施



整備期間: 今後概ね20年間